

# Program

## W. A. Mozart (1756-91)

Ricevete, o padroncina お受け取りください、奥様方 ※  
Giovani liete, fiori spargete 陽気な娘達よ、花を撒け ※  
(歌劇「フィガロの結婚」第3・1幕より)

## H. Purcell (1659-95)

Come away, fellow sailors さあ行こう、仲間の水夫たちよ ※  
Destruction's our delight 破壊は私たちの喜び ※  
(歌劇「デイドとエネアス」第3幕より)

## 武満 徹 (1930-96)

小さな空 Small Sky  
○と△の歌 A Song of Circles and Triangles 武満 徹 詩

## J. Brahms (1833-97)

Marienlieder Op.22 「マリアの歌 作品22」より  
Der Englische Gruß 天使の挨拶  
Marias Kirchgang マリアは教会へ  
Marias Wallfahrt マリアの巡礼  
Der Jäger 狩人

## F. Mendelssohn (1809-47)

Drei Volkslieder 「3つの民謡」より H. Heine 詩  
Entflieh' mit mir 僕と一緒に逃げて  
Es fiel ein Reif 春の夜に霜が降りた  
Auf ihrem Grab 彼らの墓の上には

Nachtigall 夜鳴き鶯 J. W. von Goethe 詩

Jauchzet dem Herrn, alle Welt (Psalm 100) 全地よ、主に歓喜せよ (詩篇第100篇)

～ Pause ～

## R. Schumann (1810-56)

Ländliches Lied 田園の歌 Op.29-1 E. Geibel 訳詩 (S/A)  
Sommerruh しずかな夏のひととき WoO9 Chr. Schad 詩 (T/B)  
Wenn ich ein Vöglein wär もし僕が小鳥なら Op.43-1 作者者不詳 (T/B)  
Herbstlied 秋の歌 A. Mahlmann 詩 (T/B)  
Intermezzo 間奏曲 Op.74-2 E. Geibel 訳詩 (T/B)  
Bedeckt mich mit Blumen ほくを花で覆ってほしい Op.138-4 E. Geibel 訳詩 (S/S)

## F. Mendelssohn (1809-47)

Herbstlied 秋の歌 H. Heine 詩 (S/S)

## R. Schumann (1810-56)

Liebesgram 恋の痛手 Op.74-3 E. Geibel 訳詩 (T/B)  
Sop.: 三嶋由香、吉田奈津子 Alt.: 西村書子 Ten.: 伊藤大輔、向井正宏、秋山倫太郎  
Baß: 尾付野豪夫、齊藤啓介、清水英幸 Piano: 塩野亜矢子、三嶋由香

## G. Rossini (1792-1868)

Brindisi 乾杯  
Preghiera 祈り  
Quartetto Pastorale 牧歌四重唱曲 ※  
I Gondolieri ゴンドラ漕ぎ ※  
Toast pour le nouvel an 新年に乾杯

合 唱：ヴォーカルアンサンブル・オッサ

指 揮：川井 弘子

ピアノ：塩野 亜矢子 (※の曲)



## 団員募集

Ossa では一緒に歌う仲間を募集しています。全パート若干名。

練習：月2～5回 大阪市内  
指揮者練習：月1～3回 (土曜 13:00～16:00 or Weekday 19:00～21:30)  
団員練習：月2回程度

お問合せ：rin5641@gmail.com 080-4017-5641 (Weekdayは17:00以降) 秋山

## 川井弘子のAEコース

「音楽家なら誰でも知っておきたい『からだ』のこと」

音楽する人に身体と動きの情報を提供する講座。本番や練習量が増えるところどこかに痛みを抱える人、真面目に練習しているのに思うように演奏できない人へ。ひょっとすると身体の使い方を間違っているかもしれません。だからそれに「気づいて」、「身体地図」を修正すると練習の効率は上がります。痛くなくなります。骨モデルを使いながらの、ユーモア溢れる実践的講座です。身体のパランスの場所・呼吸のマップ・腕のマップ・脚のマップなど。 <http://www.tamatele.ne.jp/~andover-hiro>

日時：2010年1月17日(日) 10:00-18:00 大阪  
2010年1月24日(日) 10:00-18:00 横浜

お問合せ：andover-hiro@mx1.tamatele.ne.jp Tel/Fax086-525-2835 川井



美味しいワインとお食事を楽しめるお店

## Le 日本食堂

La Cuisine de Tous les jours

大阪市中央区本町橋 6-21 MFK本町第1ビルB1F  
tel:fax 06-6941-8623 日・休 営業 11:30～14:30 17:30～

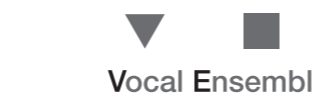
この広告を持って来られた方は、夜のみ1ドリンクサービスさせていただきます

【株】スポーツタイガー

ギムニク ショップ  
**GYMNIC SHOP**



大阪市都島区都島北通1丁目1-6 Tel 06-6921-7004 Fax 06-6921-1635 <http://gymnicshop.com>



Vocal Ensemble Ossa  
ヴォーカル アンサンブル・オッサ

Vielen herzlichsten Dank von Ossa !!

# Vocal Ensemble Ossa

ヴォーカルアンサンブル・オッサ

## 第1回 定期演奏会

～ロマン派を中心に 声と合唱の美しさを求めて～

日時：2009年12月19日(土)

13:30開場/14:00開演

会場：宝塚ベガ・ホール

主催：ヴォーカル アンサンブル・オッサ



三善晃作曲「蜜蜂と蜂たちに捧げる讃詩」を東京混声合唱団と共に歌うなど、精力的に活動。学部では量子電磁力学、大学院では交通渋滞システム理論を研究、現在は5社で知的財産系の契約担当。待のような力強い風貌と少年のような無邪気さに、団内でもファンが多い。OssaのHP作成・担当。

■**伊藤 大輔** Itoh Daisuke
5歳からエレクーンを習い、中高・大学は、バドミントンに熱中した、読書好きの悩める文学青年。阪大の卒論は「マークトゥエインの人生観」。社会人になって、会社の後輩が所属する合唱団に入門。自然な発声を探して、07年4月川井弘子氏のA Eコース受講。個人の自由な表現を束縛せず、自然に全体が調和する合唱を目指す姿勢に共感し、同年10月 Ossa 入団。会社では経理担当、Ossaではハイ Cも常に楽に出る貴重な貴公子デノールのはずなのに、なぜだか突っ込み担当。しかし美は、面倒見のよさに信頼の集まる Ossa 代表。

■**小川 立夫** Ogawa Tatsuo
御影中学で初めて指揮をし、合唱の道にはまり込む。神戸高校合唱部、大阪大学男声合唱団で学生指揮者を務め、特に大学4年時には林光氏に委嘱した男声合唱曲「おとすれ〜カトントンによる〜」を初演。大学では理学部化学科に在籍し、P社に就職、デバイス系の材料プロセス開発に従事。現在、混声合唱団 AYUMI 指揮者。川井弘子氏のGボール講座を 06年秋に、A Eコースを 07年春に受講し、この 10月より Ossa を体験中。知的に爽やかに、ピアノの前で和音の構成を説明する姿は憧れの的。今日は第 1・第 4ステージで歌う。

■**向井 正宏** Mukai Masahiro
大阪すみよし少年少女合唱団17歳まで所属し、在団中、テレマ・アンサンブルと協演し「メサイア」にソリストとして、小沢征爾指揮のオペラ「魔笛」では童子役でソロを務めるなど、多くの舞台に立つ。卒団後はカウンターテナーとして、特にバロック期のリアなど、アンサンブルを中心にソリストとしても活動を展開。奈良教育大学音楽教育専攻卒業、小学校教諭。今日は勤務校が終業のため、途中のステージから歌う。皆が見とれる寡黙な貴公子は、Ossa のイゲンム代表。

♪バスの

■**尾付野 豪夫** Otsukino Hideo
4歳からピアノを習い、中学時代には合唱の伴奏も。同志社大学法学部入学後、学内の混声合唱団に1年間のみ所属。その後、合唱・声楽に取り組み始めたのは30歳を過ぎてから。川井弘子氏のAEコースを08年6月受講、今年4月Ossa入団。「団員の個性を大事にした団方針に共感し、自己の演奏法を鍛錬しながら団の発展に貢献したい」。普段はアンジュネージが弾くショパンと、90年代のR&B・SOULを好んで聴く、堺市の公務員。Weekdayの練習は「ネクタイははずして」と言われてなぜだか赤くなる。Ossa 注目のお話人は涉外担当。

■**今井 琢磨** Imai Takuma
「一万人の第九」をTVで観て指揮者佐渡祐氏のファンになり、まずは大学時代、京大合唱団に在籍。昨年、実はこそっすり一人第九に出演し、指揮者練習では佐渡さんと肩を組んで歌いました。3歳から習ったピアノはいつの間にか剣道にとって代われ、二段取得。最近は、剣道での身体さばきと合唱での身体の使い方に共通点を感じ、ますます Ossa で歌うのが楽しいとか。でも楽しい理由は他にあってのでは？ 標語を添えた毎回の練習報告が好評の、笑顔が可愛い Ossa 唯一の体育系パリトン。

■**齊藤 啓介** Saito Keisuke
プログラミングやデザインの勉強をしている、和歌山大学システム工学部 2年生。千葉県立佐倉高校の部活動で混声合唱を始め、全国合唱コンクールに出場、銀賞受賞。08年12月AEコースを受講、今年4月 Ossa 入団。「入団後、身体の『気づき』が増したがって、声が出るようになったばかりか、体調も良くなり、普段の生活がイキイキとできているのを感じている。」Ossa のロゴを制作し、皆から絶賛された。切れ長の目が魅力の真剣勝負の20歳、しかしなぜだか指揮者に「お腹を指差される」といまだに声が大きくなります。(笑)

■**清水 英幸** Shimizu Hideyuki
1982年早稲田大学混声合唱団入団以来20数年、さまざまな団で世界中から現代日本まで、各時代・地域の合唱曲を演奏。これまで、三善晃、一柳慧、柴田南雄、林光等の初演に参加。ソリストとしては三善晃「パリトンとピアノのための「五柳五酒）」を初演。特にモンテヴェルディ、バッハから古典派、ブラームス、マーラー、フォーレ、ヴェーベルン、リグティーン、クセナキス etc. を好む。「Ossa には、自分の発声と音楽表現の問題を克服し、自由と軽やかさの獲得を目指して入団。入団以来、歌うことの楽しさ・気持ちよさを実感しています。」「善は急げ」の情熱あふれる Ossa の心臓は Daddy、低音の魅力で皆をすっぴり包みます。

【**団員紹介**】

♪ソプラノ♪

■**佐藤 由子** Sato Yukiko
大阪教育大学音楽コース声楽専攻 1年生。広島県福山市で高1の時、学校の音楽の先生に音楽で受験することを勧められて、川井弘子氏に声楽を師事。今年5月、「からだを柔軟に使って得られる美しいハーモニーとソリストとしての伸びやかな歌声を求めて Ossa に入団」したはずが、どう見ても最も目が輝くのはランチの時 !?

■**瀧澤 奈津子** Takizawa Natsuko
岡山から通う遠距離団員。この春から東北の高校勤務となり、さすがに6時間かけては通えず只今、休団中。神戸大卒の高校音楽教諭、美声のソプラノ・レジェンド、母校の前任教・岡山城東高校時代は合唱部を引き連れた中国大会出場。川井弘子氏に中2から声楽を師事し、レッスンは身体のバランスが良くなり自転車両手放してス〜イス。「早く新幹線沿いに転動して〜!」、無調の曲でも何でも初見で歌えるソルフェージュ力を持ち、料理が得意だが、冬はやっぱり何でも放り込む一鍋 !! 専科。

■**三嶋 由香** Mishima Yuka
(伴奏ピアニスト紹介をご参照ください。)

■**吉田 奈津子** Yoshida Natsuko
大阪芸術大学演奏学科ピアノ専攻卒業、研究室賞受賞。2台のピアノのための協奏曲委亦長調 K.365（モーツァルト）、ピアノ協奏曲第4番ハ短調 Op.44（サン＝サーンス）を佐々木宏氏指揮でオケと共演し、好評を博す。現在、高校で音楽講師をしながら、合唱や声楽の伴奏でも活躍中。「ピアノを弾くこと、歌うことが、どちらも同じ自分の身体で行われていることとしてつながり始め、日々音楽をする喜びを実感しています」。音楽に対するひたむきさと、てによる1氏との絶妙な絡みも好評の愛されるべき天然キャラ。

♪アルト♪

■**池田 理絵** Ikeda Rie
合唱歴は Ossa での1年2ヵ月のみ。外大を卒業後、某中東語の通訳・翻訳者として10数年間働いたところで、ある日ふと「ハマって歌えたら楽しいんじゃないか」と思い立ち、Ossa の門を叩く。半年ほど叩きつけて入門を許され ?!今に至る。「私にとってはオッサで歌うことそのものが大きな挑戦。『一人ひとり調和しながらのびのび歌う』という Ossa の目標を体感する度にワクワクし、1年前の直感に感謝。今回は「はじめてのイタリア語」等入門書と辞書を手にと歌詞翻訳にも挑戦、というか暴挙に。Ossa の誇る語学担当大団。

■**上所 祥子** Uesho Shoko
若き井上道義氏の帰国後初仕事、Vaughan-Williams「海の交響曲」を歌い、合唱音楽の美しさに魅了され、ベガホールで毎年ヘンデル「メサイヤ」を、ドイツの合唱団と独逸で6度のオトリオの共演を通じドイツ文化を体感、兵庫芸文のこけら落とし「第九」公演参加。本職は、商社IT部門で経幹システムの社員トレーニングに従事。「自分の声の新たな可能性を求めて Ossa に。まずは、自分の身体を頭の先から足先まで、骨から響かせてみたい!」日本人離れた深いアルトで、Ossa の上品さと落ち着き、ひたむきさの代表。

■**塩野 亜矢子** Shiono Ayako
(伴奏ピアニスト紹介をご参照ください。)

■**西村 書子** Nishimura Fumiko
中学合唱部では高田三部、岩河三部等の合唱曲で、NHK やMBS のコンクールに出場、高校音楽部ではモンテヴェルディ、モーツァルト、ベートーヴェン等の外国曲に感動を覚え、大阪教育大混声合唱団ではバッハ「ロ短調ミサ」等、主に宗教曲を中心に活動。普段は学校の治安を守る、戦う ?! 家庭科教諭にして、昨年度まで堺市立浜寺南中学校合唱部顧問として指揮。今年度の異動で合唱部のない中学校へ転動、自らの活動場所を求めて Ossa に入団。「最近、「うさぎ」と言ったのに、複数の団員に「お酒」と聞き間違われてしまいました」。

■**森谷 容子** Moritani Yoko
6歳からピアノを始め、音楽と盆踊りが好きな担任と放課後歌ったり踊ったりの日、お陰で初等教育を専攻、京都女子大卒。合唱は中学からだが、その後長らくご無沙汰、PTAコーラスの伴奏・指揮が回って来て10数年。「これからは自分自身の残された僅かな可能性や新たな目標に向かって、「歌う」事にエネルギーを注ぎたい。そして、出会ったのは、2006年9月のAEコースで何でもお見通しの水晶玉を持つ川井先生。楽しく厳しくストレートなご指導と、専門性に深い敬愛の念を抱きつつ3年が経つ」。Ossa のセラピ代表、会計・衣装担当。「なんで私が皆のネクタイ結ばなアカンのか」。

♪テノール♪

■**秋山 倫太郎** Akiyama Rintaroh
合唱は四国今治の小学時代からで、名古屋大学混声合唱団では学生指揮者、男声合唱団クルージュワイエ、愛知県文化振興事業団主催のオペラ合唱団であるC合唱団、TOMS合唱団などで、

## ヴォーカル アンサンブル・オッサ Vocal Ensemble Ossa

【**合唱団紹介**】

2007年1月、大阪で結成された小編成の混声合唱団。Andover Educator 川井弘子氏のAEコース「合唱する人なら誰でも知っておきたい『からだ』のこと」を受講したメンバーが、もっと身体や動きのことを学びながら、のびやかに合唱をしたいと設団。新しい合唱芸術の構築を目指している。

“Ossa”は「骨」を表すラテン語の“Os”の複数形。上記のAEコースで、声が著しく変化したことを喜んだ団員が、川井氏とともに「骨のある男・骨のある女」の頼もしい集まりであってほしいと命名。

間違いを修正するだけで多くの可能性が生まれる「ボディ・マッピング」や渡會公治氏の「背骨ほぐし肘まる体操」、またフェルデンクライス・メソッド、アレクサンダー・テクニーク、野口体操など様々なボディ・ワークと聴覚トレーニングのトマティス・メソッドを学んできた声楽家川井氏の総合的でユニークな指導の元、月2・3回、主に土曜日に大阪市内で練習している。現在、団員数 17 名。団員は大阪・京都・奈良・和歌山など関西一円から集まり、個性豊かな個の成長を元に、自由でエネルギーッシュな音楽表現を、和気あいあいと楽しく追求している。25 名まで、歌う仲間を増やしたい。

<Ossa の今までのあゆみと今後の予定 >
オッサ
オッサ
Web サイト http : //ossa.hanagasumi.net/

07年 1月 設団
08年 2月 第1回BMコンサート出演(クレオ大阪中央セミナーホール)
08年 3月 旭東病院・院内コンサート(岡山)、イウス・フェミニネ合唱団 第1回チャリティーコンサート賛助出演(岡山ルネスホール)
09年 2月 イウス・フェミニネ合唱団 第2回チャリティーコンサート賛助出演(岡山ルネスホール)
09年 5月 第3回BMコンサート出演(ムジークシユール大阪-ZG室)
09年 11月 第4回BMコンサート出演(ムジークシユール大阪-ZG室)
09年12月 第1回定期演奏会(宝塚ベガホール)
10年 4月 イウス・フェミニネ合唱団 第3回チャリティーコンサート賛助出演(岡山シンフォニーホール)
10年 5月 第5回BMコンサート出演(ムジークシユール大阪-ZG室)
10年 12月 第6回BMコンサート出演(門真ルミエールホール・小ホール)

<**Ossa の練習日**>

- 指揮者練習 : 月1〜3回(土曜日 13:00〜16:00またはWeekday19:00〜21:30)
- 団 員 練 習 : 月2回程度(指揮者練習日のない週などに、1回 2〜3時間)

<毎回ではないがよく **Ossa** の練習に登場するもの・必要なもの >

- ギムニクボール、EVA ブロック、バンド、スケレットくん(45cmの骸骨モデル)
- 譜面台、寝転がるためのバスタオルかヨガマット
- 渡會公治先生(東大大学院准教授・整形外科医)のスクワット・体操の数々、ヨーガのポーズ

【**音楽監督・指揮者紹介**】

**川井弘子** Kawai Hiroko

岡山県倉敷市生まれ。広島大学教育学部音楽科を首席で卒業後、東京学芸大学大学院教育学研究科声楽講座修了。ドイツ・シュトゥットガルト音楽大学と、オランダ政府給費留学生として王立ユトレヒト音楽院に学んだソプラノ。

ソロリサイタルやウイーンフィル首席クラリネット奏者の E・オッテンザマー氏との共演など声楽家としての多数の演奏活動のほかに、2001年アメリカにて、音楽家に動きや身体の情報「コナブルのボディ・マッピング」を指導する資格を取得し、全世界に 30 人余りいる「アンドーヴァー・エジュケーターズ ④」としての活動も開始。AE コース「音楽家なら誰でも知っておきたい『からだ』のこと」「合唱をする人なら誰でも知っておきたい『からだ』のこと」は東京・横浜・大阪・金沢・富山・名古屋・倉敷など全国から依頼があり、「ひろこマジック」「目から鱗」との評。今年9月、初の関西でのソロリサイタル(京都・パロックザール<青山財団助成公演>)では、「聴いている側もどんどん呼吸が楽なる」「柔らかい響きに包まれて癒された」と好評を博した。

現在までに、声楽を永井和子、故・木下武久、日比啓子、J・スタフスキー、E・アーメリング、K・リヒター、R・ヤンセン、M・ブロック、指揮を早川正昭、伊藤栄一らの諸氏に師事。日本声楽発声学会会員。

ソプラノ歌手、合唱指揮者、アンドーヴァー・エジュケーターの 3つの顔を持って日本全国を飛び回り、ヨーロッパにも自己研鑽に毎年出かけるヴァイタリティーに、団員からの信頼も厚い。「秘密兵器は水晶玉と巨大磁石。ゼ〜んぶ、なぜだか、ばれます。」「新しい事を柔軟に積極的に受け入れ実践する姿勢は常に団員を刺激し続け、今後も永久に(笑) 指導者として率いることを団員一同願ってま〜す」。

<川井弘子、今後の予定 >

- AE コース「音楽家なら誰でも知っておきたい『からだ』のこと」2010年1月17日(日) 10:00-18:00 大阪府茨木市
- 川井弘子ソプラノリサイタル(ピアノ:マルテン・ヒレニウス)2010年9月9日(木) 19:00開演 岡山県立美術館ホール 2010年9月12日(日) 15:00開演 京都パロックザール<青山財団助成公演 >
- 女性作曲家を聴く2010年10月3日(日)14:00開演 倉敷芸文館アイシアター

川井弘子の Web サイト : http : //www.tamatele.ne.jp/~andover-hiro/

【**伴奏ピアニスト紹介**】

**塩野 亜矢子** Shiono Ayako

大阪音楽大学ピアノ科卒業、大阪教育大学大学院芸術文化専攻修了。現在、大阪芸術大学大学院博士課程1年在学中。2007年、ポルトガル夏期国際音楽マスタークラスに参加、M・ウォスクレセンスキー氏に師事。これまでにピアノを赤松充子、浜口奈々、深美裕子、荒 憲一の諸氏に師事。ソロや声楽・楽器の伴奏で活躍中。

「4歳からピアノを始め、ピアノを学ぶ上で声楽を理解していくこと、そして川井先生が指導なさっている『ボディ・マッピング』は、声楽とピアノの両方に共通する事が多く、その必要性を痛感し、良い身体の使い方をして音楽を学びたいという思いから、Ossa に入団。幼少のころからフィギュアスケートを学んでいたこともあり、身体を動かすことや使うことと音楽を表現することには、非常に密接な関わりがあると感じ、日々精進しています」。

**三嶋 由香** Mishima Yuka

大阪芸術大学演奏学科ピアノ 専攻卒業。ピアノを関田伸子、京極輝子、声楽を清原千賀、橋本俊昭に、「ボディ・マッピング」と声楽を川井弘子の諸氏に師事。2005年、八尾フィルハーモニー交響楽団(指揮:佐々木宏氏)とフランク作曲『交響的変奏曲』を、2008年、セント・マーティン・オーケストラ(指揮:河崎聡氏)と、また八尾フィルハーモニー交響楽団(指揮:安藤信行氏)とラフマニノフ作曲『ピアノ協奏曲第2番』を共演。現在、カワイ音楽教室の講師として、また合唱団のピアニストやヴォイストレーナーとしても活動している。2008年1月、川井弘子氏のAEコースを受講後、Ossaの見学に行き、そのまま入団。「Ossaの魅力は、自分を抑えることなく、演奏できること。それまでの合唱というものに対する概念を良い意味で覆され、音楽することがどんどん楽しくなっています」。

### ごあいさつ

ヴォーカルアンサンブル・オッサ 代表 伊藤 大輔

本日は、年末の大変お忙しい中、私たち Vocal Ensemble Ossa 第一回定期演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。

Ossa は名前の通り（ラテン語で「骨」の意の複数形）、身体構造（骨・筋肉など）の適切な知識・感覚を基に、自分の持つエネルギーを最大限に解放して歌うこと、ソリストとして個人が自由に表現しつつ、全体を繊細に感じ取り調和する合唱を目指して、川井弘子先生の講座受講生を中心に、2007年1月に結成されました。

現在の団員は17名で、年齢、職業、音楽歴は異なりますが、このたび、結成3年目にして初の演奏会を開催できることになり、Ossa の理念に少しでも近づいた音楽をお届けできるよう、練習を重ねてまいりました。まだまだ未熟な点が多々ございますが、精一杯よい演奏に努めますので、ご高評賜りますよう、お願い申し上げます。

この愛すべき歌う仲間たちOssa ～第1回定期演奏会、ご挨拶に代えて

ヴォーカルアンサンブル・オッサ 指揮者 川井 弘子

2006年夏、私が大阪で開催したAEコース「合唱する人なら誰でも知っておきたい『からだ』のこと」に奈良からやって来たMさんは、講座後、目を爛々と輝かせて「先生、合唱団を作ってください」と迫って来た。私はタジタジ。初期のブルーのシャボン玉？が飛ぶOssaのHPは瑞々しい勢いに溢れていて、私は彼女の合唱に対する熱心な取り組みが何とも好きだった。もう一人、奈良からやって来たYさんはデビュー当時のキャサリン・パトルのような天使の歌声で、私は彼女の歌うソプラノが自慢だった。和歌山からやって来た大学生S君は、甘えん坊だったが純粹で、将来有望な美声のバリトンだった。2007年1月、この3人がいなければ Ossa は始まっていない。しかし、これまた人生に何が起こるかわからないように、仕事や家庭の何かの都合が、続けようと決めたはずの事柄を妨げる。

多くの人が、「よい発声」を教えてほしいと私の所にやって来る。でもそこにはよいも悪いもなく、ただ自分を知り、認め、肯定的に自分の身体を使うとはどういうことかに『気づく』ことが回答となる。当初のOssaは、合唱コンクール全国大会で上位入賞経験のある者が何人もいたが、Ossaで発声を修正し、よく声が出るようになって他団体で歌い、また出にくくなって Ossa に来てという循環で、Ossaは発声修正講座ではないと、うんざりだった。

2009年になって今日の第1回定期演奏会の日程が決まると、新しい人たちがきちんとした目標を持ち、入団してきた。本当にうれしかった。

声楽家としての3年間のドイツ留学で、個としての在り方をしっかりたたきこまれることとなった私には、個を無にしななければいけない日本の集団は苦手だ。武満徹はその著書「音楽を呼び覚ますもの」の中で、『『調和』は結果ではなく、重要なのは、それへ至る経緯である。それは、美的な鑄型に自己を嵌めこむことではない』』と言っているが、Ossaでは一人ひとりの声の可能性と音楽を大切に、「出る杭は出たままで、出ない杭は出るように促し」それぞれの成長を手助けしながら、指揮者としてハーモニーを作っていきたい。最初にあるのは指揮者ではなく、歌う個人だ。

Ossaを指導して気づいたことは多い。人が集まると、そこでは相乗効果で思いもよらない素晴らしいことが起こる。微笑ましい人間性と音楽能力が互いに芽吹いて、切磋琢磨する。今日、二重唱のステージを作ったのは、単に曲目が少なすぎると感じたためだ。ところが、皆、何とも嬉しそうにデュエットに興じていた。歌う仲間としてお互いを受け入れ尊重しながら、期待以上によく?! ハモッているのには驚き、うらやましかった。もちろん、私も含めて、合唱団としてのOssaはピアノでいうならせいぜいブルグミュラー25番に入った全くの初心者。皆さまのご教示を仰ぎたい。

倉敷出身・在任の私が、関西というこの合唱の盛んな地で、合唱団を指導できる喜びは大きい。僅か月2回の指揮者練習という制約はありつつも、大好きな歌う仲間たちの、ますますの発展を望みたい。そして共に成長したい。最後になりましたが、本日は私たちヴォーカルアンサンブル・オッサの演奏会に、お忙しい中お運び下さり、ありがとうございます。皆さまのご来場に心より感謝致しますと共に、今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。